

砂箱を利用しよう!



『砂箱（すなばこ）』をご存知ですか？

大きな交差点などにある砂箱には、つるつる路面を滑りにくくするための砂が入っています。砂の入っているものは、砂袋タイプとペットボトルタイプがあります。砂箱の砂は、誰でも自由に利用できるものです。是非活用してみてください。

利用方法

- ①  **ここから**
「砂袋」を取り出す。
- ②  **砂をまく。**
- ③  **ここへ**
空袋を入れる。

自分が滑るとおもったところや、つるつる路面で危ないと思ったところなどを見つけたら、撒いてみてください。

《使い終わった空の袋（空のペットボトル）は、砂箱の“容器入れ”の中に入れてください。》

砂箱の種類

砂箱にもいろいろな形や色に種類があります。使い方は一緒です。



他にも市内には違った形の砂箱があります。とってもユニークな形のものもあります。見つけてみてね!



札幌市中心付近の砂箱の設置箇所については「札幌雪みちガイド」の中に載っています。



砂箱を利用しよう！

転ばない
おしえ
まろ。

利用方法



★砂袋は、1.5kg 入りと 3kg 入りのものがあります。

★砂のペットボトルは誰でも撒けるように、撒くときの持ちやすさや運びやすさなどを考慮して、350ml のものや 500ml のペットボトルがあります。



砂まきボランティア



<札幌市豊平区：福住（2005年冬期）>



<札幌市中央区：大通（2006年冬期）>

砂まきボランティアの人たちは、歩行者が安心して雪みちを歩けるように、人通りの多い大きな交差点などのつるつる路面に、砂を撒いています。

ちょっと教えて！“すな豆知識”

Q.「砂箱の砂は、普通の砂と違うの？」

A. 砂箱に入っている砂は、海辺や砂場の砂とは違います。石を細かく砕き、大きさを揃えて、塩分を含まず乾燥させたものです。粗いので散布した歩道が雪や氷に刺さり込み、滑りになくなります。

Q.「どんなところに撒いたらいいの？」

A. 滑る！危ない！と思ったらどこでも撒いて下さい。自分のためでもありますし、その後、そこを通る他の歩行者のための転倒防止に繋がります。砂箱は大きな交差点や横断歩道などに設置されていますが、撒きたい場所の付近になかった場合は、そこから砂袋を持っていってもかまいません。

Q.「撒いた砂は、春になるとどうなるの？」

A. 冬の間に撒かれた砂は、春の雪解けのときに、ボランティアの人たちが掃除をします。みなさんも家の前などで気がいたら、ほうきとチリトリを持って **Let's 掃除!**

Q.「砂って、どれくらいの密度で撒いたらいいの？」

A. だいたいの目安としては、1平方メートル内に、ペットボトル（500ml）で1つくらいがちょうどいいと思います。